

環境経営レポート

【対象期間 2019年11月～2020年10月】



発行日 2020年12月7日

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力 章喜

環境経営方針

【環境理念】

株式会社久力製作所は、住宅部品（ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリーなど）の製造において、安全で快適な暮らしを確保する為の一員として事業活動を行うと共に、皆の財産である霞ヶ浦（北浦）の保全と地域社会の環境活動を積極的に推進してまいります。

【環境経営方針】

1. 二酸化炭素排出量、水使用量、廃棄物排出量、金属屑排出量の削減に努めます
 - 1) 電気、ガソリン、軽油、灯油の使用量削減
 - 2) 節水活動による水使用量の削減
 - 3) 3R活動の展開による廃棄物の削減
 - 4) 化学物質の適正使用
2. 環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した住宅部品作りを推進します
4. 環境に配慮した製造活動を中心に環境経営の継続的改善を行います
5. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会、顧客とのより良いコミュニケーションを図ります
 - 2) 社内においては、全従業員が環境経営方針を周知し、全員参画による取り組みを目指します
6. 課題とチャンスについて取り組む事項
 - 1) 積極的にコストダウン活動を行う
 - 2) 高付加価値製品の開発を強化する
 - 3) 開発力を生かした営業を行う
 - 4) 海外販路を積極的に開拓する

2019年 5月 24日

株式会社 久力製作所

代表取締役 久力章喜

組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 久力製作所
代表取締役 久力章喜

2. 所在地

本社工場 茨城県行方市小貫1681-1

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 栃本修一
連絡先 TEL:0291-35-2636 FAX:0291-35-2683

4. 事業の概要

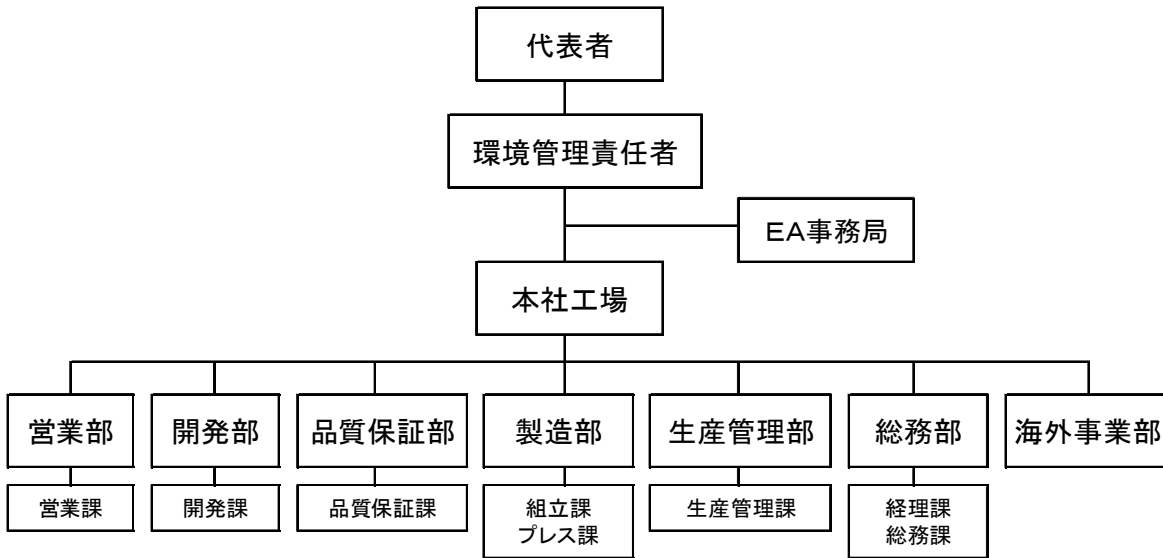
住宅部品(ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリなど)の設計、開発、製造及び販売

5. 事業規模

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
生産高	t	2,559	2,059	2,211	2,193
売上高	百万円	1,697	1,659	1,727	1,545
従業員	人	62	62	62	62
床面積合計	m ²	1,900	1,900	2,429	2,429

対象の範囲

1. 認証・登録範囲 本社工場



2. 事業内容

住宅部品（ドアロック、ドア部品、ユニットバス部品、トイレアクセサリなど）の設計、開発、製造及び販売、すべての事業活動に適用している。

環境目標

No.	項目	単位	基準値	目標値		
			実績値	2019年度	2020年度	2021年度
1	電力使用量の削減 【2018年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	51,743/1,659 =31.19	2%減 30.57	2%減 30.57	5%減 29.63
2	化石燃料使用量の削減 【2018年度売上高原 単位実績値/百万円比】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	16,428/1,659 =9.90	5%減 9.41	5%減 9.41	7%減 9.21
3	水使用量の削減 【2018年度人数原単位 実績比】	m ³ /人 (水実量値m ³)	29.00/59.92 =0.484	3%減 0.469	3%減 0.469	5%減 0.460
4	廃棄物排出量の削減 【2018年度実績値】	t	— 7.81	2%減 7.65	2%減 7.65	5%減 7.42
5	金属屑の削減 【2018年度実績値】	t	— 23.14	10%減 20.83	10%減 20.83	12%減 20.36
6	資源排出金額の削減 【2019年度6ヵ月実績値】	円	— 5,048,350	5%減 4,795,933	10%減 4,543,515	12%減 4,442,548

- ・ 電力使用量の削減目標の計上において、2018年度実績のCO₂排出係数は東京電力0.500 kg-CO₂/KWhで算出していたが、2019年(第I期)からは、2017年度(株)リックスポイントの実排出係数0.560kg-CO₂/KWhを使用している。その為、基準年の排出量を新しい排出係数に基づいて算出し直した排出量として置き換えている。
- ・ No.3 水使用量は月単位平均を設定値とする。また、従業員数は月単位変動で計上する。
- ・ 化学物質使用量(PRTR対象物質)は商品開発試験に限り使用するものであり、年間量としてはごく少量のため削減目標を設定せず、適正管理を目標とする。

環境活動計画

No.	項目	手段
1	電力使用量の削減	・不要な箇所の消灯 ・昼休みの消灯 ・パソコン、OA機器等の省エネ設定
2	化石燃料使用量の削減	・自動車燃料、灯油使用量の削減 ・フォークリフト、自動車エコドライブの実施
3	水使用量の削減	・節水コマの取付け ・節水意識の向上による節水の実施
4	廃棄物排出量の削減	・製品不良発生防止 ・有価物化の推進
5	金属屑の削減	・プレス加工端材の削減 ・製品不良発生防止
6	資源排出金額の削減	・製品不良発生防止

環境目標の実績

○ ≥ 100%…目標達成 100 ≥ △ 95%…やや未達 95% < × …未達

No.	2017年度環境目標	単位	認証サイト	基準値	目標値	実績値	目標達成率	評価
1	電力使用量の削減 【2018年度売上高原 単位実績比2%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	本社工場	51,743/1,659 =31.19	30.57	26.21 (40,501)	117%	○
2	化石燃料使用量の削減 【2018年度売上高原 単位実績比5%減】	kg-CO ₂ /百万円 (CO ₂ 実量換算値 kg-CO ₂)	本社工場	16,428/1,659 =9.90	9.41	8.54 (13,191)	110%	○
3	水使用量の削減 【2018年度人数原 単位実績比3%減】	m ³ /人 (水実量値m ³)	本社工場	29.00/59.92 =0.484	0.469	0.440	107%	○
4	廃棄物排出量の削減 【2018年度実績比2%減】	t	本社工場	7.81	7.65	6.4	120%	○
5	金属屑の削減 【2018年度実績比10%減】	t	本社工場	23.14	20.83	27.72	75%	×
6	資源排出金額の削減 【2019年度6か月実績比5%減】	円	本社工場	5,048,350	4,543,515	2,985,150	152%	○

・ No.1 電力使用量の削減及びNo.2 化石燃料使用量の削減の実績値()内はkg-CO₂ 絶対値を表記している。

環境活動計画の取組結果とその評価

No.	項目	評価、次年度の取組内容
1	電力使用量の削減	売り上げに対して使用量も比例して減少した。エアコン省エネなど電気量の抑制や太陽光発電設置の結果、目標達成した。次年度も引き続き改善提案に基づき活動を行う。
2	化石燃料使用量の削減	売り上げに対して使用量も比例して減少した。工場内暖房の抑制やコロナの影響により営業車及びトラックの使用頻度が減少した結果、目標達成となった。継続して取り組む。
3	水使用量削減	節水コマ設置や従業員の節水効果(消音器使用)により活動が全社的に実施され効果的に削減された。継続して取り組む。
4	廃棄物排出量の削減	梱包ビニール類と樹脂不良部品類のリサイクルを推進した。また不良品率の削減(プレス、組立工程)を積極的に取り組んだ結果、目標達成した。継続して取り組む。
5	金属屑の削減	プレス端材、不良による廃棄、不良在庫による廃棄削減や組立工程の改善活動を実施したが、結果として目標未達成となった。通常排出量とは別に溜まっていた不良品をまとめて整理したことや突発的に工場内の金属棚の処理などが加算されたことが要因として挙げられる。不良の未処理品を溜めずに定期的に分別等処理をすることとし、不良品(処理前)の保管状況確認を毎月1回行い管理していく。
6	資源排出金額の削減	外注先へ対して不良内容連絡を行い、改善を継続的に取り組んだ結果、目標達成した。廃番等による旧製品過剰在庫の処理などは無い。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1. 下記の主な法規制を含む全ての適用する法規制の評価において遵守していることを確認しました。また、関係機関等からの違反の指摘、訴訟等も過去13年間ありませんでした。

法規制	遵守状況	違反、訴訟の有無
浄化槽法	○	問題無し
騒音規制法	○	問題無し
振動規制法	○	問題無し
消防法	○	問題無し
労働安全衛生法	○	問題無し
PRTR法	○	問題無し
毒劇物取締法	○	問題無し
RoHS法	○	問題無し
廃棄物処理法	○	問題無し
家電リサイクル法	○	問題無し
自動車リサイクル法	○	問題無し
資源有効利用促進法	○	問題無し
フロン排出抑制法	○	問題無し
茨城県特定施設に関する条例	○	問題無し
茨城県産業廃棄物(委託契約書管理)に関する条例	○	問題無し
行方市事業系一般ゴミ排出に関する条例	○	問題無し

代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ エコアクション21が引き続き効果を上げていることを確認しました
- ・ スクラップは未達成だったものの、その他の項目は良い状態であると評価しています
- ・ 更に高い目標を立てて活動を推進ください
- ・ 太陽光発電の効果を確認し、更なる活動を立案するようにして下さい